



補習校だより

平成29年度 第8号

平成29年5月27日発行

マイアミ補習校

校長 實藤 哲夫

事務（携帯） 305-505-6493

校長（携帯） 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail miamihoshuko@hotmail.co.jp

PTA 主催の古本市開催！

先週の古本市は大賑わいでした。子ども達にとっては、好きな本を選び、自分でお金を払って買い物をする数少ないチャンスです。補習校で初めて経験する幼稚部の子ども達はもとより、中学部の子ども達まで、楽しそうに沢山の本を選び、買い求めていました。

中には「ホントはあっちの本を買いたいんだけど…」と大人用の本が売られていた隣の部屋をうらやましそうに見ている中学生もいました。子ども用の読みものでは飽き足りないのでしょうか。読書への意欲があることは大変喜ばしいことです。

また、持ってきた袋いっぱい購入し、その場で広げて読み始める子ども達も大勢いました。日本語に親しみ、語彙を増やしていくためには日本語の本をたくさん読むことが効果的です。楽しそうな子ども達の様子に、嬉しくなりました。

本を提供してくださった皆様、古本市開催のために企画・準備・運営をしていただいたPTAの皆様と運営に協力していただいた保護者の皆様に感謝します。



【ざらりと並んだレジ…】



【買った本をさっそく広げて…】

“朝読書” “読み聞かせ” もスタート

朝の時間を使った“朝読書”が始まりました。低学年では保護者による“読み聞かせ”をしていただいています。月刊「海外子女教育」4月号に『読み聞かせの大切さ』と題した座談会が掲載されていました。その中に、本と触れ合うことによる効用として、“作文が上手になる”という一文がありました。「語彙が多くなるし、たとえば遠足に行った後で感想文を書くときも、頭の中に絵本と同じような形で記憶が残っていて、そのまま絵を文字にするだけでスラスラ書けてしまう…」

確かに、読み聞かせを聞いたり、本を読んだりすることは子どもの想像力を伸ばしていきます。文化や科学を発展させるためには、人間の『想像する力』が必要なのは言うまでもありません。子ども達の中から将来、人類の文明を発展させるのに貢献するような子が現れて…と想像してしまう私でした。



【静かに耳を傾けて…小2】